



2022年(令和4年)

6月

No.728 since1961

広報 しばた



優勝目指し 全力で駆け抜けた運動会

町内の各小学校では、待ちに待った運動会が開催されました。この日のために練習してきた子どもたちがダンスやリレーに取り組む姿に、集まった保護者からは大きな拍手が送られていました。

【5月21日(土) 西住小学校】

特集 1

しょくはく
食で育もう

家庭から広がる 食への楽しみ

問 健康推進課 Tel.55-2160

食育とは

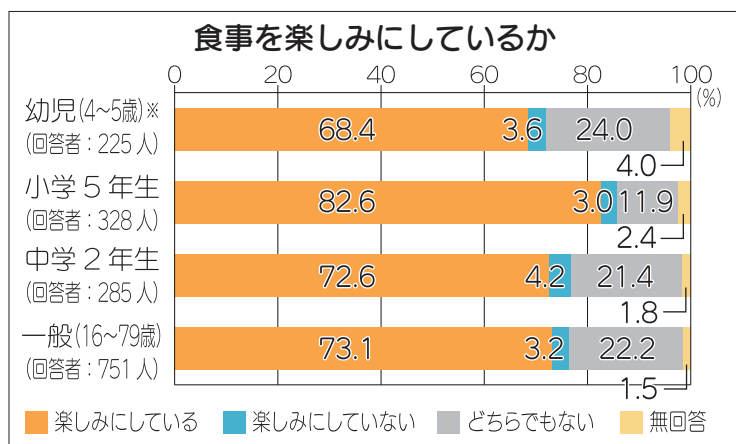
食育とは、さまざまな経験を通じて、食に関する知識と、バランスの良い食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる力を育むことです。子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくための基本であって、知育・徳育・体育の基礎と位置づけられています。

また、大人も自由に食べ物を選ぶことができるからこそ、健康な生活を送る上で食育は重要なのです。

「食」
今だからこそ
大切にしたい

核家族化やライフスタイルの多様化により、食は大きく変化しています。また、新型コロナウイルス感染症の流行で、感染対策から食事中の会話を控えるように

令和2年度 食育に関するアンケート調査



食事を楽しみにしていない理由

	幼 児 (4~5歳)*	小学5年生・中学2年生	一般 (16~79歳)
1位	食に興味がない	食に興味がない	準備することが面倒
2位	その他	無回答	食に興味がない
3位	食が細く食べることが苦手	食欲がわかない	その他

※保護者が回答

なり、誰かと一緒に食事をする共食の機会も減少しています。

このような状況の中、令和2年度に町が行った食育に関するアンケート調査では、大人も子どもも4人に1人が「食事を楽しみにしていない」ことが分かりました。幼児や小学生、中学生では「食に興味がない」ことが主な理由となってい

ます。

乳幼児期から食を楽しむことは、食への喜びをもたらすし、心身の健康をつくります。生活は一変しましたが、一方で家庭での時間を充実させる動きが見られ、食への注目が高まっています。家庭での食を振り返り、食の大切さについて改めて考えてみませんか。

家庭で育む「食への楽しみ」

家庭は子どもが最初に「食」と出会う大切な場所

家庭での食には「誰かと食べる楽しみ」、「料理を作る楽しみ」、栽培や収穫など「食べ物に触れる楽しみ」など、たくさんの楽しみが待っています。家庭で経験することで、食への喜びが生まれ、心と体の健やかな成長にもつながります。

また、家族と一緒に食卓を囲むことで、箸の正しい持ち方、食事のあいさつやマナーなどを子どもに伝える機会にもなります。



家庭で食に関心をもってもらうために

一緒に料理をする



自分で作った料理はおいしいものです。また、お手伝いで食材に触れることも食に興味を持つきっかけになります。

食べ物の絵本を見せる



カラフルに食べ物が描かれた絵本は、食べ物への興味がわき、食事を楽しむ気持ちを分かりやすく伝えることができます。

食材を育てる



自分で野菜の種をまいて、一生懸命育てることは、嫌いな野菜を克服するきっかけにもなります。

食事を作るのが面倒で「食」を楽しめないと感じたときは

食事が大切だと分かっているのに、毎日の食事の支度が面倒だと感じている人はいませんか。栄養バランスの良い献立を考え、調理、後片付けを毎日続けていくことは簡単ではありません。時には、お総菜や冷凍食品などを上手に活用して負担を少なくすることで、食を楽しむ心の余裕が生まれます。

栄養バランスは「赤・黄・緑」の食材で

「赤・黄・緑」にあたる素材を1食、または1日の中でまんべんなく使うことで、栄養バランスが整いやすくなります。

赤 (からだをつくるもとになる：たんぱく質)
主な食材／肉、魚、卵、牛乳・乳製品、豆類など

黄 (エネルギーのもとになる：炭水化物・脂質)
主な食材／ご飯、パン、麺類、オリーブオイルなど

緑 (からだの調子を整えるもとになる：ビタミン、ミネラルなど)
主な食材／野菜、果物、海藻類など

時間があるときに常備菜をつくらう

日持ちするおかずをストックしておくと「あと1品足りない」時に便利です。お酢や塩を使ったレシピだと、比較的長持ちしやすくなります。

冷凍野菜や総菜を上手に活用

食材の下ごしらえの手間を省けます。市販の総菜に手作りの料理を組み合わせることも、無理なく続けるポイントです。

第4期柴田町食育推進計画を策定しました

町では、平成29年に第3期柴田町食育推進計画を策定し、生涯にわたって心も体も健全な食生活を送ることができるように、ライフステージに応じた食育を推進してきました。

令和3年度で第3期計画期間が終了することから、計画の目標達成状況や食育に関する事業の取り組みについての評価を行い、令和2年度に実施した食育に関するアンケート調査の結果などを踏まえ、「第4期柴田町食育推進計画」を策定しました。町では、計画目標の達成を図るために、さまざまな取り組みを実施していきます。計画の全文は町ホームページに掲載しています。

基本理念 食卓から育む 健康な心とからだ

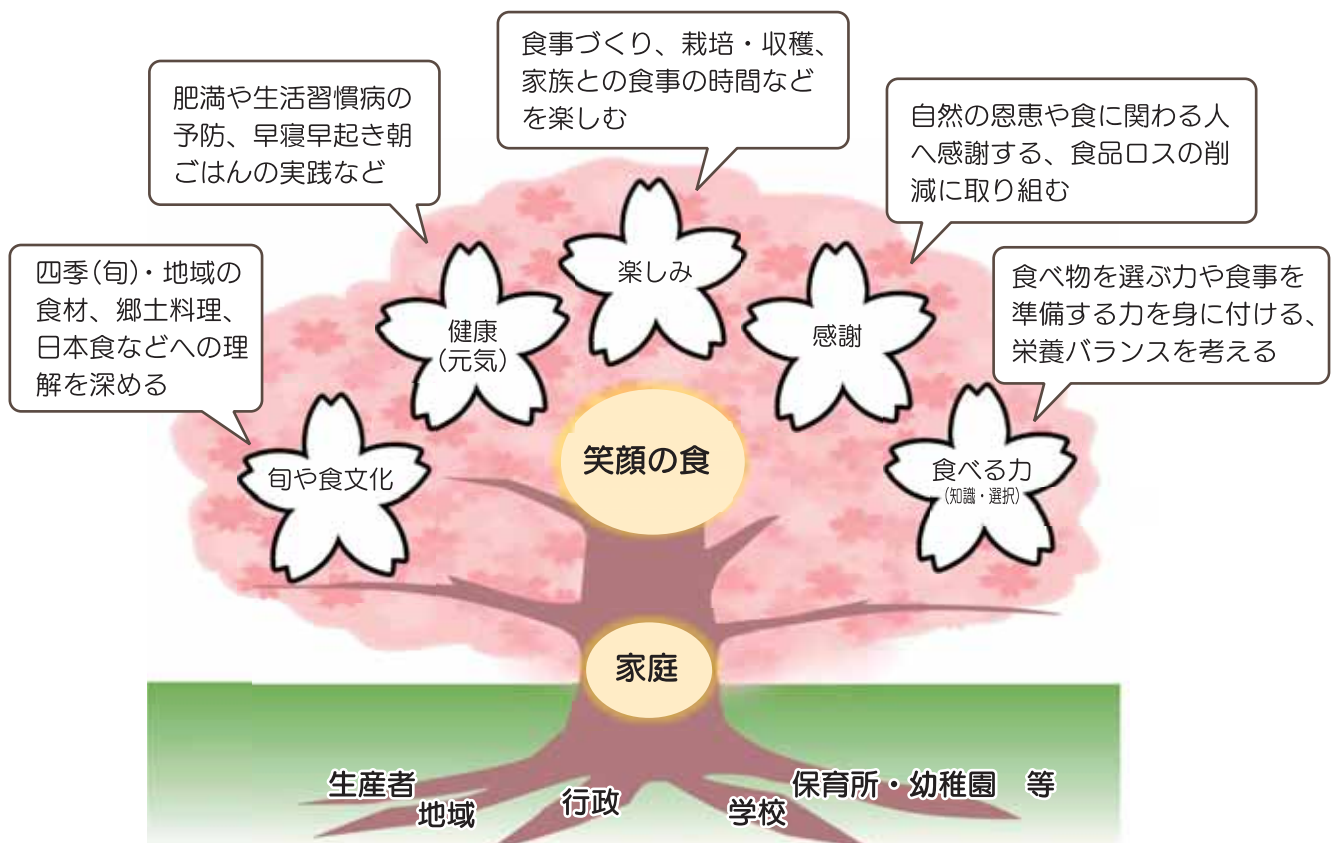
第3期計画の取り組み状況や課題などを踏まえ、生涯にわたり心身ともに健全な食生活を送れるよう、基本理念を掲げました。

基本目標 家庭からつながり 広がる 笑顔の食

家庭を中心に、保育所や幼稚園、学校、地域、生産者などの関係者が連携し、さまざまな食体験により笑顔で健全な食生活を実施できるよう、基本目標を設定しました。

食育推進の視点と食育のイメージ

基本目標の達成には、食に関する楽しみや感謝の気持ちを育み、旬や食文化に関心を持つ機会が必要です。また、さまざまな食体験を通して「食べる力」を身に付け、心身ともに健康となるよう食育を推進します。



ライフステージに応じた食育の取り組み



第4期柴田町食育推進計画では、ライフステージの特徴を踏まえたテーマのもと、自ら食育に関する活動を実践できるように、具体的な取り組みを示し、食育を推進していきます。

特に心身の成長が著しく食習慣の基礎をつくる上で重要な「乳幼児期・学童期」を中心に取り組みを充実させています。

乳幼児期（おおむね0歳から5歳）「楽しく体験し、食習慣の基礎をつくる」

心身の成長が著しく、自ら食べる意欲が生まれる時期です。共食によって得られた楽しさや経験は、心の豊かさを培い、健やかな体をつくります。乳幼児期は大人的生活習慣が影響しやすいため、保護者が食の大切さを理解することが重要になります。

主な取り組み／家族一緒に食事を楽しむ機会をつくる、食べ物への感謝の心を育む など

主な食育推進の目標値（4～5歳）

	現状値	目標値[R8年度]
・食事を楽しみにしている	68.4%	→ 75.0%
・朝食をほとんど毎日食べている	88.0%	→ 93.0%
・早寝早起き朝ごはんの実践	65.3%	→ 68.0%



学童期（おおむね6歳から12歳）「楽しく体験し、望ましい食習慣が定着する」

さまざまな学習や体験などを通して、食習慣の基礎が定着する時期です。食の大切さを理解し、食への興味や関心を高めることが重要です。また、学校や地域などが連携し、食に関する体験の機会を設けるなど、家庭の取り組みを補完するような支援が必要になります。

主な取り組み／早寝早起き朝ごはんの実践、給食などへ地域の食材を取り入れる など

主な食育推進の目標値（小学5年生）

	現状値	目標値[R8年度]
・食事を楽しみにしている	82.6%	→ 83.0%
・食事づくりや後片付けをよく手伝っている	39.0%	→ 45.0%
・朝食をほとんど毎日食べている	91.8%	→ 92.0%



思春期（おおむね13歳から18歳）「食を楽しみ、望ましい食生活を維持する」

- ・適切な食事量、栄養や食事のバランスを学ぶ
- ・食品の生産や流通、環境などSDGsを視野に入れた学習により食への関心を高める など

青年期（おおむね19歳から39歳）「健全な食生活を実現する」

- ・不規則な食事を避け、1日3食を習慣づける
- ・野菜を多く取り入れるなど、栄養バランスの取れた食事を心掛ける など

壮年期（おおむね40歳から64歳）「健全な食生活を維持し、生活習慣病を予防する」

- ・活動量に合った食事の適量を知る
- ・健診などで健康状態を確認する など

高齢期（65歳以上）「食を楽しみながら、食を通じた豊かな生活を実現する」

- ・筋力や骨の健康を維持するため、タンパク質やカルシウムを中心に3食バランスよく食べる
- ・食文化などの知識や経験を次世代へ伝承する など

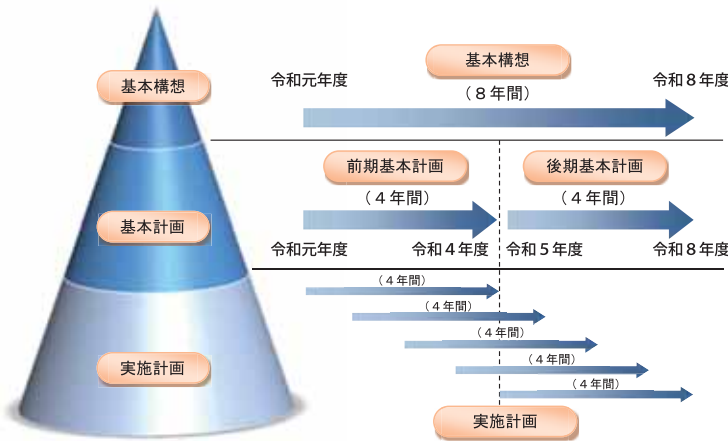
特集2

まちづくりアンケート調査における 皆さまからのご意見にお答えします

第6次柴田町総合計画後期基本計画策定に向け



問まちづくり政策課 TEL54-2111



アンケート調査概要

対象／町内にお住いの18歳以上の方
抽出方法／4,000名を無作為抽出
調査期間／令和4年2月1日～28日
回答方法／郵送またはWeb

配布数	4,000人
有効発送数	3,994人
回答数	1,945人
	郵送回答 1,545人
	Web回答 400人
回答率	48.7%
自由記述記載数	876人
自由記述記載件数	2,041件

総合計画とは

総合計画とは、将来のまちの姿を明らかにし、その実現に向けたまちづくりの方針と、基本的な行政の取り組みを定めた柴田町の最上位に位置付けられた計画です。

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成されており、町では

現在、令和5年度から4年間の後期基本計画の策定に取り組んでいます。

第6次柴田町総合計画後期基本計画を策定するにあたり、町民の皆さんから広くご意見をお伺いするため、令和4年2月にアンケート調査を実施しました。

アンケートでは町民の皆さんから柴田町の将来のまちづくりについて、さまざまな意見をお寄せいただきました。

はじめに

お寄せいただいたご意見は、財源の見通しを確実にした中で、計画策定に生かして実行に移していきます。

アンケートでお寄せいただいたご意見や要望を実現するには、必ず予算の裏付けが必要になることから、まずは町の財政のしくみについてご説明します。

町の財政運営の基本は「入るを量りて出ざるを制す」ですので、原則として町民の皆さんからお預かりした税金などの自主財源以上の行政サービスを行うことはできません。それでは地方自治体の財政が成り立たないため、国や県から一定の地方交付税などが分配されるしくみになっていきます。

しかし、その財源を加えても皆さんから寄せられる道路や側溝の整備、子育て支援、社会保障サービスなどを十分に賄いきることはできないことから、地方創生による観光振興やふるさとな財源を確保しています。令和4年度の一般会計予算、約138億円のうち、町民の皆さんから納めていただく税金は41億円で全体の30.2%となっています。予算額を100万円として例えると、町民の皆さんから預かる税金は30万2千円

であるため、町は次の3つの方法で不足する財源69万8千円を確保することに努めています。

1、補助金や交付金などの確保

町独自の政策を国や県に提案し、それを認めてもらうことで、補助金などの確保に努めています。

船岡城址公園の整備やイルミネーションは、できるだけ町の税金を使わずに、地方創生関連交付金や東北観光復興対策交付金など、国からの資金を活用して実施してきました。この交付金は、観光の振興を目的として交付されるもので、道路や側溝の整備、社会保障といった他の目的に使うことはできません。

2、補正予算債の活用

有利な国の補正予算債（町が借金を返済する際、

国から大部分が補填されるもの）を積極的に活用しています。

活用にあたっては常に国の補正予算に対応できるように、事前準備を怠らないようにしています。この補正予算債を活用することで、5年間で約60億円をかけ、小中学校の校舎や、体育館、武道館、校庭を整備することができました。

3、ふるさと納税で自ら稼ぐ力を醸成

令和3年度は、しばた千桜橋からの桜の景観と社会福祉法人はらから福祉会の牛タンの相乗効果によって、全国から約17億4千万円の寄附をいただきました。

寄附金額から事業経費を差し引き、令和4年度においては、この寄附金の約半分を皆さんからお預かりした税金にプラスして住民サービスを提供していきま

アンケート調査で寄せられたご意見への回答

生活環境・都市基盤整備に関する事

意見 街灯が少なく、暗い道が多いため、子どもたちの帰りが心配です。

回答 令和4年度において、既存の防犯灯3,000基を最新型の明るいLEDに一気に交換し、加えて新たな防犯灯の設置を図ります。

意見 大河原町、角田市は月3回ほど土曜日にごみを収集しているのですが、柴田町もすべきでないかと思えます。

回答 ごみの収集は、自治体ごとに決められており、柴田町は週5日の収集を実施しています。大河原町、角田市が土曜日に収集をしているのは紙資源です。柴田町でも皆さんのごみ処理



利用者が増えているストックヤード



LED灯で明るくなった槻木小学校前の町道

の利便性向上などを図るために、町内2カ所に「しばた資源ごみストックヤード」を毎週日曜日に開設し、紙資源はもとより、びん類、缶類、ペットボトル、使用済み小型家電の受け入れを行っています。

意見 柴田町に引越してきて驚いたのは、以前住んでいたところと比べて水道料金がとても高かったことでした。もう少し安くできないのですか。

回答 水道料金については、料金体系が各自自治体で異なるため、一概に比較はできませんが、仙南2市7町の中では平均的な料金となっています。

引き続き、経営の効率化・適正化を図ってまいります。

意見 公園の古い遊具は早急に新しい遊具に交換してください。また、太陽の村をもっと楽しくして欲しいです。

回答 令和4年度において、北船岡1号公園、西船迫1号公園に新しくブランコや幼児用遊具を設置します。特に西船迫公園には複数の遊具が組み合わされた大型の複合遊具を整備します。また太陽の村に、大型遊



町道船岡南11号線 工事(左)、完成後(右)

具を設置する計画です。令和4年度はそのための測量費を予算化しています。

意見 道路や歩道の段差、蓋が壊れた側溝などを早くなんとかして欲しい。

回答 ここ5年間に約60億円をかけた小中学校の校舎、体育館、武道館、校庭の改修工事がほぼ完了しました。今後は、身近な道路や歩道、側溝の改修に全力を挙げていきます。

保健・医療・福祉に関する事

意見 柴田町には大きな病院が無く、みやぎ県南中核病院任せとなっている。ぜひ総合病院を造って欲しい。

回答 20年前にも総合病院を造って欲しいとの要望がありました。しかし、柴田町単独で病院を造り、運営することは困難であったことから、大河原町、角田市、村田町、柴田町の1市3町で、みやぎ県南中核病院を造った経緯があります。現在、そのみやぎ県南中核病院の経営は厳しく、1市3町で約9億円の負担金を支払っても、毎年の決算は赤字となっています。

意見 町外の病院や介護施設までの交通手段として、デマンド型乗合タクシーではなく、乗合バスの方が利用しやすいと思います。

回答 柴田町に新たな公共交通を導入する際に、柴田



町内を巡る「はなみちゃんGO」

町地域公共交通活性化協議会において、循環型乗合バスとデマンド型乗合タクシーとを比較検討しました。循環型乗合バスは、高齢者がバス停まで行くことが不便であること。また、乗合バスを導入した近隣自治体では、思っていたほど利用されていない状況から、最終的にデマンド型乗合タクシー「はなみちゃんGO」を導入することになりました。今後は、「はなみちゃんGO」と通院者に対するタクシー券の助成などを検討し、交通弱者への支援を行います。

教育・文化・スポーツに関する事

意見 早急に総合体育館、図書館を建設して欲しい。

回答 総合体育館については、官民協働により令和4年度に実施設計を作成し、令和6年12月のオープンを目指しています。

図書館建設については、令和3年度に整備用地の取得が完了しましたので、今後はいかに建設のための財源を確保していくかが課題となります。



(仮称)柴田町総合体育館完成イメージ

産業振興に関する事

意見 なぜ、船岡城址公園の整備に町の税金を使うのですか。観光に力を入れても、日々の生活が良くなると思えません。

回答 船岡城址公園の整備が進み、柴田町の知名度が向上したことで、令和3年度には全国からのふるさと納税額が約17億4千万円となりました。その約半分を、住民サービス向上のために役立てています。また、しばた千桜橋からの眺望は外国人観光客にも好評で、観光庁から外国人の訪れるまちとして指定されました。

その他

意見 役場ばかりきれいにして税金の無駄と感じます。また、駐車場が少なく、いつも空くの待たされ不便です。

回答 本庁舎は、大規模災害などが発生した場合には、災害対策本部を設置し、自衛隊等の関係機関と連携していくための防災拠点となります。しかし、耐震化がなされておらず防災拠点として不十分でした。

そこで、借金返済額の70%が国から補填される有利な緊急防災・減災事業債や公共施設等適正管理推進事業債を活用し、本庁舎・保健センターの耐震補強等工事を実施しました。

駐車場については、現在、整備工事を行っています。完成後は駐車台数が16台程度増える見込みとなります。



千桜橋から望む蔵王連峰

主な自由記述

生活環境・都市基盤整備に関する事	456件
・道路や歩道、側溝の整備	
・大雨時の冠水対策	
・防犯灯、街灯の設置 など	
保健・医療・福祉に関する事	411件
・総合病院を作ってほしい	
・医療機関が少ない	
・コロナワクチン接種関連 など	
教育・文化・スポーツに関する事	354件
・総合体育館、図書館の建設	
・子どもが遊べる場所を作ってほしい など	
産業振興に関する事	220件
・企業、商業施設の誘致	
・道の駅を作ってほしい	
・観光よりも住民へ税金を使ってほしい など	
町民参加・行政改革に関する事	182件
・さまざまな人がイベントなどに参加しやすい環境づくりを	
・無駄な人件費、事務費を抑えて健全な財政運営を など	
その他	418件
・デマンド型乗合タクシーではなく定期循環バスの運行を	
・空き家、空き地にお店などを誘致して有効活用を など	

第6次柴田町総合計画後期基本計画策定までの流れ

第6次柴田町総合計画後期基本計画の策定に向け、

7月に有識者などで構成される柴田町総合計画審議会を設置します。審議会では皆さんにご協力いただいたアンケート結果や町の現状、前期基本計画の実施状況などの分析結果を基に、新た

にSDGsの視点などを盛り込み、計画案を作成していきます。計画案は令和5年1月に予定しているパブリックコメントを経て、3月の完成を目指しています。

6月は衣替えの季節です。四季がある我が国では、暑さが増す6月と寒さが厳しくなる10月の節目に衣替えが行われてきました。

一方で、私にとつてのクールビズは悩ましい時期でもあります。通常私の仕事着は、背広とネクタイですので、日々のファッションは白いワイシャツとネクタイを变えるだけで良かったのですが、クールビズの期間中はコーディネートをどのようにしていけばいいのか迷っています。また、ノーネクタイのカジュアルな服装で仕事をすると、役場を訪れる住民の方に対し、だらしなく不快感を与えるのではないかと思います。懸念を抱いてしまい落ち着かないのです。

6月は衣替えの季節

しかし、最近では地球温暖化の影響もあつて、5月でも真夏のような気温の日もあり、冷房に頼る日も少なくなっておりません。そこで環境省が中心となって提唱されたのが衣類の軽装化キャンペーン、いわゆるクールビズでした。クールビズという造語を初めて耳にした時には、どのようなファッションなのかよく分かりませんでした。私がイメージしたのは、約30年前に当時の総理大臣が半袖の背広に身を包んだいわゆる「省エネルギー」で颯爽とテレビに登場した姿でした。

その後、このクールビズを推奨する企業も増え、また、さまざまなクールビズファッションが社会の中に浸透していきました。

役場では今年も5月からクールビズを実施し、過度の冷房に頼ることなく快適に仕事ができるように、ノーネクタイとノージャケットで仕事をしています。

しかし、さすがに、これまでさわやかな季節の代表格だった5月に、真夏を思わせるような暑さが続くこと、5月からのクールビズの導入はやむを得ないのかと思つてしまいます。とは言え、私にとつての衣替えは単に暑いから軽装の夏服に変えるのではなく、暑い夏をこれから乗り切つていこうとする気分一新を図る意味合いの方が強いのです。だからこそ、夏を迎える季節の変わり目の6月に衣替えをしてきた我が国の風習に合わせてこそ意義があり、落ち着いて仕事ができるのです。

しばた歴史探訪

第16回 入間野平城館跡

今回は、入間野平城館跡(槻木下町一丁目)を探訪します。現在の槻木保育所の北側の住宅地であるこの地区は、阿武隈川の洪水によって運ばれた土砂が積もつてできた微高地(自然堤防)の北の端にあたります。槻木の宿場が形成される前は原野で、入間野と呼ばれていました。これに対して山側まで続きたいへん広い湿地帯は、後に水田として開発されて入間田と呼ばれました。

「館」とは、中世の武士たちの防衛的な施設のことを言います。通常、館は守りやすい山の上に造られますが、こういう平坦地に作られた城や館を平城と呼びます。

一昨年、この地区の開発に伴い、発掘調査がおこなわれました。230mという狭い面積ながら、井戸の跡、館の内部を区画する溝や土坑、多くの柱穴が見つかりました。井戸跡と溝跡からは、中世陶器や、かわらけ(武士たちが儀礼や宴席で使った素焼きの小皿)のほか、曲げ物(木製の入れ物)や中国産の天目茶碗なども出土しました。これらの遺物の特徴から、この館跡は13世紀末の鎌倉時代後期から15世紀前半の室町時代前期にかけて使われたものであることが分かりました。

もう一つ、出土したかわらけは、福島県伊達市の梁川城跡や福島県桑折町の播磨館跡と同種でした。このことから入間野平城は福島北部に拠点を置いて南奥羽に勢力を伸ばしつつあつた伊達氏と関係があつたことがわかりました。

関しばたの郷土館 TEL55-0707





健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ91

第91回のテーマは、 「感染症対策 正しいマスクの付け方」です。

コロナ禍の現在、マスクは身近になくてはならない存在となっています。改めてマスクの着用方法を見直してみましょう。

マスクは不織布マスクを使用しましょう

一般的なマスクのうち不織布マスクがウイルスの拡散や吸い込みに対して最も高い効果を持ち、次に布マスク、ウレタンマスクの順に効果があります。マスクは、ウイルス吸入量を減少させる効果より、ウイルス拡散を防ぐ効果がより高く、自分と相手の双方が不織布マスクを着用することでウイルスの吸い込みをより効果的に抑えることができます。

対策方法	なし	マスク		
		不織布 	布 	ウレタン
吐き出し飛沫	0%カット	80%カット	66~82%カット	50%カット
吸い込み飛沫	0%カット	70%カット	35~45%カット	30~40%カット

正しいマスクの着用方法

①鼻の形に合わせ、隙間をふさぐ



②あご下まで伸ばし、顔にすき間なくフィットさせる



マスク着用時に注意したいポイント

- ・あごマスク、鼻マスクはNG
- ・付けたら外側は触らない
- ・ひもを持って着脱する
- ・マスクを触ったら手指を消毒

保健師からのアドバイス

感染症予防のために、会話時は必ずマスク着用を心掛けましょう。また、会食などの場においても、マスクを外すのは飲食時だけにとどめ、会話をする際にはマスクを付けましょう。

図健康推進課 TEL55-2160

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

私たちとSDGs 連載⑨

問まちづくり政策課 54-2111

ゴール9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

世界では約11億人もの人が電気の供給を受けることができず、インターネットにアクセスすることができない人は世界人口の約半分を占めています。世界中の人が公平で、手軽にインフラを利用できる環境を作ることが求められています。

インフラとは道路や発電所、インターネットなど私たちの暮らしを支えている施設やサービスのことです。地震などの災害に強く、災害が起きてもすぐに復旧できるようなインフラづくりが大切です。



船岡城址公園



しばたのオープンガーデン

みやぎ蔵王ハーモニー花回廊がガーデンツーリズムに東北で初登録



みちのく杜の湖畔公園 (川崎町)



みやぎ蔵王えぼしリゾート (蔵王町)



スパッシュランドパーク (白石市)

みやぎ蔵王山麓の
花修景と蔵王の恵みが
奏でるハーモニー豊かな
ガーデンツーリズム

ガーデンツーリズムは複数の庭園が連携して個性を際立たせ、それぞれの良さを発揮できるように磨き上げを図り、魅力的な体験や交流を創出し、地域の活性化を図るものです。ガーデンツーリズム登録制度（庭園間交流連携促進計画登録制度）は、各地のガーデンツーリズム計画を積極的に支援するため、国土交通省が認定を行っています。

4月27日（水）に、柴田町を含む県南2市9町で構成される「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」の計画が、東北で初めて登録されました。現在、全国で13の計画が登録されています。

みやぎ蔵王山麓に広がるフラワーガーデンを軸とした周遊観光ルートを整備し、天然温泉、食、文化などが

一体となったコンパクトな旅を国内外に向けて発信していきます。

構成庭園

柴田町

- ・船岡城址公園
- ・しばたのオープンガーデン

白石市

- ・白石城
- ・スパッシュランドパーク

蔵王町

- ・みやぎ蔵王えぼしリゾート
- ・蔵王酪農センターバラ園
- ・ざおうハーブ

角田市

- ・菜の花畑

川崎町

- ・みちのく杜の湖畔公園

商工観光課

TEL 55-2123



告 白

告 白

まちかど NEWS



個性豊かなハンバーガーに長蛇の列ができていました。



大人気だった焼肉屋さんのチーズバーガー。

仙南バーガーフェス&マルシェ NEWS

5月15日(日)、柴田町図書館駐車場を会場に第2回仙南バーガーフェス&仙南マルシェが開催されました。

2回目の開催となったバーガーフェス。参加店舗も10店舗に加え、お店ごとに工夫を凝らしたハンバーガーが並びました。また今回は、ハンドメイド雑貨などを販売する仙南マルシェも同時に開催しました。

訪れた方は、「予想以上に人が多くて驚きましたが、目当てのハンバーガーが買えたので良かったです」と話してくれました。

カーネーションに感謝を込めて NEWS

5月6日(金)から8日(日)まで、柴田町観光物産交流館さくらの里で、カーネーションの展示即売会が開催されました。カーネーションは町内の花き農家が育てたもので、母の日に合わせて毎年即売会を行っています。

4歳の娘さんとカーネーションを買いに訪れた太田さん(岩沼市)は、「妻へ贈るカーネーションを買いに来ました。娘が一生懸命選んでくれたので妻も喜んでくれたら嬉しいです」と話してくれました。



3日間で2,500鉢が完売するほどの大盛況でした。

告 白

告 白



こうほう 文芸

俳句

雨を斬る燕の向ふマリの傘
おはようと蔵王山菜我が家へと
朝靄に日の出照り映え燦燦と
晩春と決め逝く友は千里眼
筍の貫ぬく空の志
青田風と遊んでおりぬ父の墓
薫風や怒号に揺れるウクライナ
虫喰ひの穴まで美味し蒨萩草

葦神 葛ら
安藤 節子
平間 三郎
安ヶ平奈津枝
中野西範子
石垣テル子
制野 千秋
遊佐 徹

田植機の音おちこちに黄金週間
芥菜の香る夕餉の独り酒
囀りに肩を押されて畑に出る
亡き人のつづる思いかえびね咲く
思ふことしづかにひかり椿の実
いかほどの愁いか霧の虹となり
下萌えやアスファルトをつきやぶる

山家美智子
三塚 直樹
及川美沙子
若月ノリ子
大久保和子
浪山 克彦
可沼 妙子

川柳

野に山に山菜出る出る猪熊も
ほろ苦い季節を連れて露のとう
腕がなる父ちゃん自慢の太鼓腹
菜の花や仲間の畑で立話し
何事も賛成多数議決せり
花が散る雨降り草伸び草を抜く

梶木 平間 三郎
北船岡 日下 功
西船迫 後藤 文子
梶木 加藤 マサ
西船迫 安ヶ平良三
四日市場 鳥井崎

目覚めたよ今日も一日元張ろう
古時計休まず今日も時きざみ
水面に花筏あり春惜しむ
今の時期若葉あふれる街に山に
逃げて無事焦げた樹木は知っている

船岡 阿部美代子
西船迫 渡辺 晴江
梶木 永井 貞子
船岡 小林 夢子
梶木 村上 紫寿

短歌

阿武隈の川面に朝霧立ち込めて
朝日遮る東風潮る
遠い日に教室より眺めたあの海が
幸せ剥ぎとる波となるとは
水鳥の白き胸毛がかかるがると
春めく水の光分けゆく
今もなお千本桜鮮やかに
意気揚々と咲き誇るなり
驚いた小圧力でも動き出す
別のエンジン動かなかった
男孫に問う尊敬する人尋ねれば
首を曲げ「自分」と笑ふ

梶木 平間 三郎
船岡 可沼 妙子
船岡 つかのめけいこ
梶木 白石 光子
西船迫 安ヶ平良三
船岡 伊藤タイ子

ボルガどこひまわりどこに咲くのだろう
悲しみ積もる豊かな黒土帯
金木犀切りし庭には陽さんさん
描くかのような花を植えおり
パンジーに描いたような模様あり
考え尽くされた自然の美なり
憧れの学校通いは電車にて
「ガンバ青春」高一の孫
満開の桜と青空の下黄色のランドセル
はずむ声平和なり

四日市場 鳥井崎
西船迫 星 裕子
船岡 沢田 順子
本船迫 森田 眞六
西船迫 下浦 智子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで6月10日(金)まで応募ください。 圃 まちづくり政策課 TEL 54-2111

広 告

広 告

我が校の学力向上の取り組み

「できた」「わかった」これが学力向上の源

榎木小学校では、「子どもたちの学習意欲（やる気、主体性）を引き出すことが学力向上の土台である」と考えています。さまざまな脳科学者も、意欲の源泉は脳にあり、脳の働きを高めるには「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣が最も大事だと提唱しています。本校では保護者の協力を得て「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣の定着を進めています。

また、町の学力調査の結果から、柴田町の児童生徒の「書く力」が全国平均を上回っていることが分かりました。本校では「ミニ作文」の実施や授業の中で児童自らの考えを書く取り組みが、成果として表れているものと分析しています。

今年度はさらなる学力向上を目指し、次の3点に取り組んでいきます。

1 学力向上を推進する授業づくり

- ・「できた」「わかった」という自己肯定感を高める
- ・相手のよさや頑張りに目を向けた「認め合い、伝え合う」授業づくり

2 客観的データに基づいた学力向上策の計画立案

- ・学力調査による児童の「つまずき」「よさ」を把握し、改善を図る
- ・年度末に学び直し期間の設置

3 個別最適化学習に向けた取り組み

- ・タブレットドリルを活用した、個別復習の実施
- ・放課後学習や家庭学習の習慣化を図り、学習の補完に努める



協働して学習する子どもたち

昨年度に実施した児童アンケートでは、「主体性が伸びた」という児童が増えました。これは、本校で取り組んでいる「リーダー・イン・ミー（7つの習慣）」の習慣を身に付けようと、多くの児童が頑張った成果であると捉えております。これからも「自分の学力は自分で伸ばす」を合い言葉に、持続可能な社会の創り手にふさわしい人材を育成していこうと思います。

〔榎木小学校長 嶋中 直幸〕

第9回 あじさい しばた紫陽花まつり

4,200株もの紫陽花が初夏の船岡城址公園を彩ります。

期間／6月17日(金)～7月3日(日)
会場／船岡城址公園

広 告

広 告

憧れの仕事、良い仲間にも恵まれた 会社に貢献したい

株式会社 佐藤興業
幕田 ゆみさん (42歳)

今回は、建物の解体工事や土木工事、産業廃棄物の収集運搬などを手掛ける(株)佐藤興業の幕田ゆみさんを紹介します。



入社7年目の幕田さんは、大型ダンプの運転手として、建物の解体現場で発生したガレキなどを処理場まで運搬する業務を担っています。

ダンプの運転手は子どもの頃から憧れていた職業たそうで、「中学生の頃に、大型ダンプが何台も連なって走っている姿がとてまかつこいと感じたことがきっかけで、将来は絶対にダンプの運転手になると決めていました。念願かなって免許を取得できた時はとても嬉しかったですね」と話します。

話し、また、「雨の日や冬道では乗用車よりも路面の影響を受けやすく、積載物の有無によっても運転の仕方が変わってきます。特に冬道の運転はいまだに怖さを感じますし、慣れるものではないですね」と話してくれました。

今後の目標について、「今はダンプでガレキなどを運ぶだけで、ガレキの積み込みは重機の作業ができる社員がやってくれるため本来の作業の手を止めさせてしまいます。なので私も重機の運転免許を取得して、積み込みの作業を一人で完結できるようにになりたいと思っています」と話してくれました。

仕事をする上で気を付けていることを伺うと、「大型車を運転するドライバーの方は誰でも同じだと思いますが、一番は安全運転です。ダンプは車体が大きく死角も多くあります。一般道も幅員のある道路ばかりではなく細い道を走行することもあるため、歩行者や対向車への気配りや安全確認には注意を払っています」と

若い社員が重機の免許を取得し、操作技術をみるみる向上させている姿にとっても刺激を受けているそう。自分もそうなりたくてと熱く語ってくれた幕田さん。これからも頑張ってください。



ダンプの運転をする幕田さん。



株式会社佐藤興業
柴田町大字下名生字旭川76-1
TEL57-0812
平成22年設立。建物の解体工事や内装解体工事、土木工事のほか産業廃棄物の収集運搬などを手掛ける。
従業員24人

人口と世帯数 (令和4年5月1日現在)	37,223人 (前月比88人増)	18,615人 (前月比104人増)	18,608人 (前月比16人減)	16,279世帯 (前月比154世帯増)
-------------------------------	-----------------------------	------------------------------	-----------------------------	--------------------------------

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。